

別記
第1号様式（第14条関係）

環境マネジメントシステム導入報告書

(宛 先) 京 都 府 知 事	2022 年 7月29日
住所（法人にあっては、主たる事務所の所在地） 京都市下京区塩小路通堀川東入南不動堂町801番地	氏名（法人にあっては、名称及び代表者の氏名） オムロン株式会社 代表取締役社長 山田 義仁
環 境 マ ネ ジ メ ン ト シ ス テ ム の 名 称	ISO14001:2015 (JIS Q 14001:2015)
適 用 範 囲	オムロン株式会社 京都事業所
導 入 年 月 日	2001年 4月 3日
認 証 番 号	4679555-4665895
基 本 方 針	オムロン株式会社およびその子会社からなるオムロングループ（以下、オムロン）は、当社の企業理念に則って、気候変動問題に対する企業責任を果たします。
環境に配慮した事業活動を自主的に進めていくための目標（以下「目標」という。）	エネルギー使用量（電力、都市ガス）の削減（2020年度実績以下） 廃棄物分別の適正化
目標を達成するための取組の内容	エネルギー使用量削減 ・省エネスタイル実施に伴う空調制御・夜間外灯消灯・コロナ感染拡大防止による在宅勤務増加にともなう不要照明消灯 環境教育による廃棄物の分別の周知 ・排出内容の随時チェック・分別廃棄の徹底・掲示物や社内教育資料による分別の周知
目標を達成するための取組の進捗状況	電力使用量が2020年度実績の96.6% 都市ガス使用量は2020年度実績の110% 廃棄物分別適正化 掲示や社内教育資料により改善方向にある
目標を達成するための取組の成果及び当該成果に対する評価	電力使用量は目標値内で完了した。新型コロナウイルス感染状況が落ち着き、出社人数が増加したことから電力使用量が増加し、コジェネの稼働が増えたため都市ガス使用量が増加した。 廃棄物分別の適正化については今後も環境教育統を通じ啓発してゆく。
事業活動に係る法令の遵守の状況	問題ない 環境関連法規の最新化及び順守状況については、環境事務局が中心となり毎月確認を行っている。
環境マネジメントシステムの評価及び見直しの内容	ISO14001の要求事項に従い、毎年1月にマネジメントレビューを実施し、EMSの評価および見直しを実施している

注 認証番号の欄は、導入した環境マネジメントシステムについて第三者の認証を受けている場合にのみ記入してください。